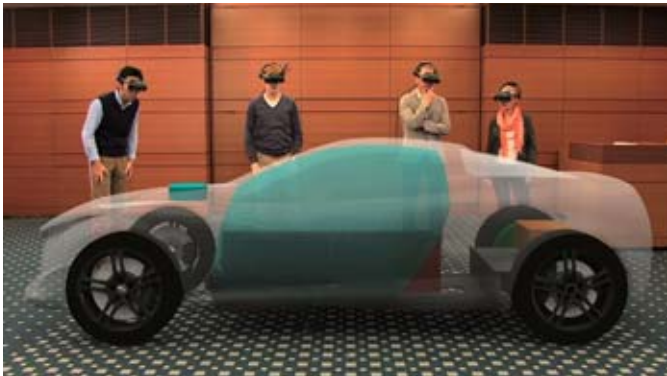


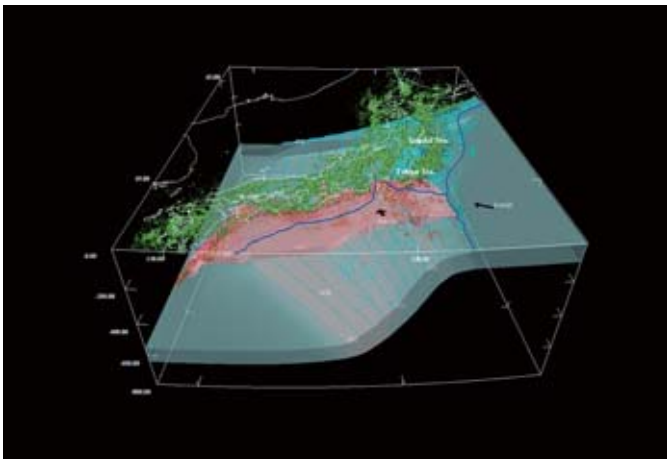
## キヤノンのMRシステム “MREAL”を販売開始

キヤノン株式会社が開発したMR (Mixed Reality: 複合現実感) システム“MREAL (エムリアル)”の販売を開始しました。“MREAL”は、ヘッド・マウント・ディスプレイ (HMD) 上に、周囲の映像と対象物の3次元 (3D) データを融合したCGを表示するものです。ユーザーの姿勢の変化や動きに瞬時に反応するので、対象物が実際に存在するような感覚を体験できます。

本システムにより、製造業では、3D設計データを用いて臨場感のある映像によるデザイン評価や操作性評価を行うことなどが可能です。試作機の製作回数を削減できるため、製品開発の期間短縮、コストや環境負荷の低減に貢献します。



MREALの利用イメージ



HMDに表示された日本列島の地殻構造

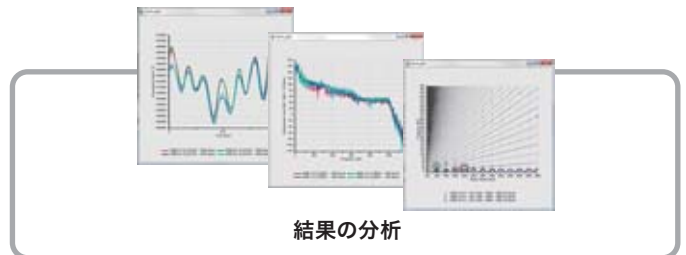
また、気象データや災害シミュレーション結果と都市データを組み合わせることで、被害予測や避難経路確認が視覚的に可能になるなど、災害に強い都市計画づくりでの活用も期待されています。“MREAL”を採用した東北大学地震・噴火予知研究観測センター

では、複雑な地球内部構造を研究者間で視覚的に共有することで、地震発生や火山噴火のメカニズム解明に向けた議論が一層進展することが期待されています。

(2013年3月販売開始)

## 高速なエンジン振動 シミュレーションソフト “ESTECH.PS-X”を提供開始

エステックは、運転中のエンジン振動を高速に計算し、振動・騒音設計を支援する有限要素法CAEソフト“ESTECH.PS-X”を開発しました。本ソフトはエステックが独自に開発した計算アルゴリズムを採用し、従来の市販ソフトに対し約1/150の計算時間 (同社ベンチマークテストによる) で同じ精度の結果を得ることができます。また固有モード寄与、入力寄与などエンジン振動解析に特化した分析機能を備え、現状把握から要因分析、対策検討まで一連の設計検討の効率を飛躍的に向上させることができます。



結果の分析

ESTECH.PS-Xシミュレーションのイメージ

本ソフトの計算アルゴリズムは、エステックが5年間の基礎研究で構築した振動理論に基づき開発したものです。同理論においてエステックは、エンジンをはじめとした、回転軸と筐体からなる機械の振動を、線形時不変な振動方程式で記述することに世界で初めて成功し、2013年8月には、この計算アルゴリズムに関する特許を取得しました。

(2013年10月提供開始)

\*エステックはISIDのグループ会社です。